

公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日時： 2024年9月12日（木）11時50分～12時42分

場所： 関西学院大学（神戸三田キャンパス）Ⅷ号館202（ハイブリッド開催）

出席代議員：相川 祐理*、赤堀 卓也*、浅井 歩、井岡 邦仁*、石川 遼子*、石垣 美歩*、市來 淨與、
稲見 華恵、井上 剛志、井上 昭雄、井上 芳幸、江草 芙実*、大朝 由美子、大須賀 健*、
岡本 桜子*、檜山 和己*、川端 弘治、河野 孝太郎*、諏訪 雄大、高橋 慶太郎、
田中 雅臣、谷口 大輔、土居 守*、当真 賢二、富田 晃彦*、富田 賢吾、長尾 透、
野村 英子、林 左絵子*、藤井 通子*、藤井 友香*、細川 隆史*、堀田 英之、松本 浩典、
望月 優子、百瀬 宗武、山岡 均、山崎 典子*、横山 央明、吉田 直紀*

欠席代議員：犬塚 修一郎、大向 一行、富永 望、深川 美里、山崎 了、小林 千晶

委任状：5通

出席理事：井田茂会長、勝川行雄庶務理事、町田真美庶務理事*、鈴木竜二会計理事、酒向重行会計
理事（野村英子副会長、百瀬宗武副会長は代議員を兼任している。）

出席監事：松尾宏、山田亨

オンライン参加者には*が記されている。また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐
が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、代議員総数46名のうち、開始時点での出席代議員が40名、委任状5通で定
足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と
署名人の確認がなされた。

議長：井田 茂

署名人：井田 茂

また、オンライン会議システムによる出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一
堂に会するのと同じく適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回代議員総会（2024年6月5日）の議事録が確認された。

II. 報告

II-1. 理事会（2024年9月9日）の報告（資料無、勝川）

2024年9月9日に開催された理事会の報告がなされた。以下の報告事項に含まれていないも
のとして、インターネット天文学編集委員の追加、2026年秋季年会の開催地として京都産業
大学が承認されたこと、年会の講演受付はこれまではボランティアによって運用されてきた
が、早ければ2025年秋季年会の講演募集時より外部委託とすることを目指して検討を進めて
いることなどが報告された。

II-2. PASJからの報告（資料3、勝川）

投稿規定の追加、LaTeXのクラスファイルの変更、XRISM衛星特集号が企画されていることが
報告された。

- II-3. Code of Conduct/ハラスメント防止ガイドライン策定タスクフォース報告（資料4、望月）
タスクフォース設立の経緯と現段階のCode of Conduct(行動規範)の素案、2025年1月の代議員総会での採択を目指していること、その前にTENNETを活用し、広く意見を求める予定であることが報告された。Code of Conductの適用範囲を前文に記載することに関して代議員に意見を求めた。行動規範の遵守を天文学会が主催する活動に参加する非会員にも求めることをどのように明記するべきかに関して活発な議論が行われた。Code of Conductの文言に関しても、全体の整合性をとるための修正提案が代議員より出され、タスクフォースで再度検討するとの返答がなされた。
- II-4. 年会における開催形態（企画セッション等の扱い）について（資料5、百瀬）
年会活動の拡充により開催地の負担が肥大し続けていることを懸念して、年会開催地に求める最低限の会場数、会場数に応じて企画セッションの有無を決めることが報告された。
- II-5. 日本天文学白書について（資料6、高橋）
日本天文学白書委員会の活動内容と第1回目の全体集会在9月13日(金)15:30から行われることが報告され、積極的な参加が呼びかけられた。
- II-6. 学術会議・IAU分科会報告（資料7、浅井）
2024年7月のIAU分科会において、NOC、および、NAECのメンバーが承認されたこと、2024年8月に南アフリカ・ケープタウンにてIAU総会が開催され、関勉氏が名誉会員と認められたこと、鹿児島大学で博士号取得のJames O. Chibueze氏が新副会長に、Division E Presidentに清水敏文氏が就任したことが紹介された。IAU新規会員の募集、Ph.D Prizeの募集についても紹介があった。天文学・宇宙物理学分科会では、新たに長尾透氏が幹事に加わったことが報告された。また、未来の学術振興構想に関するシンポジウムの開催、第26期分科会として将来計画に向けた取り組みを議論中であること、日本学術会議の在り方に関して議論が継続していることが報告された。

[資料リスト]

資料1 代議員総会出欠席表

資料2 公益社団法人日本天文学会代議員総会議事録(案)

資料3 PASJ 編集委員会からの報告

資料4 Code of Conduct/ハラスメント防止ガイドライン策定タスクフォース報告

資料5 年会における開催形態（企画セッション等の扱い）について

資料6 日本天文学白書委員会報告

資料7 26期日本学術会議・分科会報告

2024年9月12日

議長・署名人： 井田 茂

印